

教育福祉常任委員会会議記録

1. 期 日 令和5年8月24日(火) 開会9時30分
閉会10時16分
2. 場 所 第一委員会室
3. 付議案件 子どもの権利について
4. 出席者 一石委員長、古谷副委員長、岡田委員、松崎委員、前田委員、
野地委員、根岸議長
傍聴議員 3名
一般傍聴者 0名
議会事務局 2名 議会事務局長、庶務課長

子どもの権利について

委員長 これより教育福祉常任委員会を開催する。「9月議会の継続調査にかかる委員長報告について」資料に基づく説明。後半にまだ決定していないことが入っているが、このような説明を私の方で考えたが皆様にご意見を伺う。

野地 文面的なところで資料の真ん中「事業団が運営する武蔵野プレイスを視察し」の後に、「条例の効果を含めて視察に」とあり「視察」が重なっているので1つにまとめた方がよい。最後の締めの言葉だが報告で終わってしまっており、そうすると9月議会の閉会中の継続調査をしないというふうに捉えられるので、今後9月議会の継続調査として進めていくと入れて皆さんの同意を得られないと、会議ができなくなる。そこは入れないといけない。

委員長 「9月定例会後も引き続き調査研究を進めてまいります。」と入れる。他にご意見はあるか。

前田 ただいまの件は資料の裏面の「以上教育福祉常任委員会継続調査の報告」を、それに差し替えればよいのではないかと思う。表面の下から4行目である。「意見交換は第一委員会室で2回にわたり関係各課出席のもと行いたい」とあるが、これは2回とは限らず内容によっては4回、5回と増えてくると思うので、回数は削除し第一委員会室で関係各課出席のもとに行いたいとするか、また第一委員会室が取れないこともあるかもしれないので場所も入れず、意見交換は関係各課出席のもと行いたいとすればよい。

古谷 局長、場所等を入れなければいけないというルールはないのか。

局長 大丈夫である。

委員長 他にはいかがか

議長 資料の表面の中段に「体現施策を重要と考え」と書いてある。委員長の考えがこうであるのだと思うが、この体現施策が条例の中に反映できるようにということが委員の皆さんの中で共有できているのか。

委員長 松崎委員や野地委員からも言われて私もそうだが、社会状況からまずは現場が非常に大変であること。それに関わることが入っていることが重要であって理念条例ではないということ、理念条例だけを考えているのではないということを行うためにこれを入れた。

議長 皆さんがそれでよいということであれば私はよい。

野地 今議長が言われたのは合意がありましたと断言をしているのを気にされているのではないかと思った。資料10行目に「例にとどまらない体現施策も視野に入れた研究が必要」とのことで研究するのは問題ないが、当初から合意があったということが引っかかるので、言葉を少し変えた方がよいのではないかと思う。多分皆さん同じところで引っ掛かっているのではないかと思う。「合意がありました」と断言するのではなく、そういうご意見もありましたとか、そういうことを踏まえてやっていきますとか、そういう文言に変えた方がよいかと思う。

委員長 社会状況から、理念条例にとどまらない体現施策も視野に入れた研究が必要ではないかという意見も出ていた。

古谷 これを入れたのは、了承するため、これが皆さんとの意思確認かと思ってはめ込んだ。この場で意思確認ができるか。できるのであればここで言い切ってもよいのかと思う。当初という言葉は抜かなければいけないとは思いますが、ここで意思確認ができればここに入れてもよいのではと思っていた。できることなら理念条例にはしたくないが、最終的になってしまうかもしれない。ここでこの文言を入れることによって、意識的には皆さんで理念じゃないということを示す。

委員長 「合意がありました。」を変えればよいのか。

野地 「合意をした。」ということを入れたいのではないのか。

古谷 今皆さんの了解が取れれば、ここで合意したことにしてよいのではないか。

委員長 皆さんいかがか。

前田 私はそれでよいと思う。小中一貫教育に関する町の施策の中にも子どもの権利ということが入っているので、理念条例ではなくできれば体現施策も視野に入れた研究が必要ということで、皆様の合意が取ればなおよいのかと思っています。

野地 合意がどこに係る合意なのかよく分からない。必要だということを合意しただけであって、どんな条例になるかは分からない。必要ということについては当初合意があったけれど、結果としては理念条例だと最終的に説明をして問題がなければ、皆はただ思っただけでそれならそれで構わない。これに縛られることは全くないということは合意をしておきたいと思う。

委員長 他の皆さんはいかがか。それでは、「社会状況から理念条例にとどまらない体現施策も視野に入れた研究が必要」という合意があった。他はいかがか。

野地 確認である。資料の5行目から読んでいくと、私がお休みしていた時もあるが、むさしのクレスコーレは初めて聞いたような気がする。これは会議の中で何かやり取りをされた事なのか。

委員長 不登校児童生徒の対応する場所として、クレスコーレという所があるということ調査研究会で共有した。私も皆さんも実際に見たわけではない。ただ体現施策があるということと言いたかった。二宮で言うとやまびこにあたるのかと思うが、むさしのクレスコーレについては共有した。

古谷 委員会の場ではこれについて委員長は発言していて、説明はしている。

委員長 実は映像まで事務局に準備してもらっていたが、映像と私が準備した説明書をうまく合わせることができなかった。情報は皆さんでよく見ておいてくださいということは申し上げていた。資料の8行目の協議が違う。ヒアリングに向けた研究ですね。研究にしてよいか。「ムサカツ、不登校児童生徒対応のむさしのクレスコーレや、子どもオンブズマンの仕組みの準備等の情報を共有した」にしましょうか。他にいかがか。

前田 むさしのクレスコーレが、二宮のやまびこと同じではないかとの発言があったが違うと思う。やまびこの観点でクレスコーレを考えては少しまずいのではないかと思う。

委員長 おっしゃる通りである。

- 前田 やまびこは国の指示に従い、各自治体で 1 つ不登校児童生徒に対する教室を作りなさい、居場所を作りなさいと言う指示のもと作り上げられたと思うが、クレスコーレは国の指示ではなく武蔵野市としての独自の考えで、市民の意見を汲み上げた形で作られているものだと解釈している。
- 古谷 やっている内容は同じだと思うが元々の出来方が違うということでよいか。
- 前田 はい。
- 議長 資料の下から 6 行目だが委員会の前に調査研究会で話があり、「町民活動のヒアリング、意見交換の機会を持つこと」とあるが、意見交換が中途半端になってしまったがこれでよろしいのか。
- 委員長 前回合意したと思っている。
- 議長 私たちも現場を知って意見交換することが大事だということになったが、やり方が違えば大丈夫なのか。こういうふうに書き定めてしまってよいのか。現場を知る必要から必要な団体等に意見交換を持ちますとか、10 いくつというふうに限定しない書き方にするのもよいのではないかと思う。それは皆さんのやる気次第である。先ほど具体的に提案された 13 の団体名も出ていたので、私として異存はないが、皆さんの合意としては 10 いくつというところの示し方でよいか。皆さんにも確認をしておきたいと思う。
- 委員長 ご意見どうぞ。
- 野地 先ほど止まっている部分が 2 行あって、「子どもたちを応援する 10 いくつ」とあるが、10 いくつ実際あるのか分からない。数はいれなくていくつかのとか、複数のというところで留めてよいかと思う。「子どもたちを応援する複数の団体と、町民活動についてのヒアリングや意見交換を行うこととした。」としたらいかがか。その次は先ほど時間がなかったので、おそらく次の調査研究会の議題としてあったものだと思うので、そこはまだ決めていないので暫時休憩にして 1 度その議論に戻ってもよいのかと思う。
- 岡田 具多的な数を入れなければいけないということではないですね。
- 委員長 入れなくてもよい。
- 岡田 それならばいくつかのとか、そういう数を特定しない言葉にした方がよいと思う。

委員長 分かりました。それでは「二宮町内の子どもたちを応援する複数の町民活動についてヒアリングと意見交換の機会を持ちます。」とする。

前田 その活動は町民活動団体ではだめか。「複数の町民活動団体とのヒアリング」とするのはいかがか。

委員長 これについてはいかがか。

(「よいと思う。」との声あり)

委員長 「複数の町民活動団体にヒアリングと意見交換の機会を持つことを決めました」としたいと思う。暫時休憩とする。

9時55分

《暫時休憩》

10時13分

委員長 休憩を解いて正式委員会を再開する。継続調査に係る委員長報告についてである。資料の下から3行目の学習会について確認したいと思う。9月議会後のところで、9月議会後は「二宮町内の子どもたちを応援する複数の町民活動団体のヒアリングと意見交換の機会を持つこと」と決めました。さらに子どもの権利条例についての学習会を持つ。町民活動のヒアリング、意見交換は関係各課出席のもと行いたい。また学習会は議会、行政、町民参加で開催したく、行政と協議しながら準備を進める。今後は子どもの権利条例を持つことの意義、効果についての学びを行政と共に町ぐるみで進めたいと考えている。以上9月議会後も継続調査を進めてまいりますので、ご審議のほどよろしく願います。これについてご意見のある方いるか。

野地 だいたいよいと思うが、私が先ほど思ったのは「また学習会は議会、行政、町民参加で開催したく行政と協議しながら準備を進めます」という言い切りの部分を、もう少しやわらかくした方がよいのではないかと思った。決まっていないこれからの協議なのでよいのかもしれないが、断言をする言い方は嫌なので少し変えたい。

委員長 そうすると「学習会は議会、行政、町民参加で開催したいと考えている。」でいいか。

野地 「議会、行政、町民参加で開催したいと考え、行政と協議してまいります。」でいかがか。

委員長 では、「議会、行政、町民参加で開催したく、行政と協議してまいります。」でよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長 よろしければ、この文面で最後、微調整をして完成したものを皆様に再度共有させていただく。他に何かあるか。

(「なし」との声あり)

委員長 それでは、以上で教育福祉常任委員会を閉会する。

閉会 10 時 16 分